

はさまっぷ活用法

保存版

※「はさまっぷ」は、地域の安全マップとして飯山満小学校区のエリア・交通量の多い道路・ヒヤリハット地点・不審者の出やすい場所・「ひまわり 110 番の家」などを掲載し、年度ごとに校外環境委員会が更新しています。

※身近な所に置き、お子さまと一緒に確認しましょう。

※お子さまが普段遊んでいる公園、お友達の家など「はさまっぷ」に直接印を付け、お子さまの行動範囲を把握しましょう。

【作成 2024 年度校外環境委員会】

《こどもが かならず まもること》

- ・「だれ」と「どこ」であそび、「かえるじかん」をおうちのひとにはなす。
- ・「ひとりで あそばない」。
- ・「くらくなる まえ」にかえる。
- ・「あかるく」「ほかにも あるいているひとがいる」みちをあるく。
- ・クルマからはなしかけられても、「ちかづかない」し「のらない」。
- ・「へんなクルマ」がちかづいたら、ちゅういしてクルマからはなれる。
- ・知らないひとに みちをきかれたら、「うごかずにおしえる」か「おとなのひとにきいてもらう」。
- ・知らないひとに はなしかけられても、ぜったいについていかない。



《お家の方が注意すること》

- ・「子供が必ず守ること」を普段からよく言い聞かせておく。
- ・そのほかに・・・大声で助けを求める
防犯ブザーを鳴らす
近くの家や「ひまわり 110 番」の家、コンビニ等に逃げ込み、大人の人に知らせる。
(車の番号はナンバー、形、色などを覚えている良い)
など、万が一のときにどうすれば良いのかをお子さまと一緒に練習しておく。

【誘いの手口の例】

のらない



「お家まで車で送ってあげるよ。」
「お母さん(お父さん、先生)が呼んでいるよ。」
「お母さんが交通事故で入院したから・・・」
「ゲーム(お菓子)を買ってあげるよ。」
「YouTuber に会えるよ。」

【ぜひ実行していただきたいこと】

- ・通学路、遊び場をお子さまと一緒に歩いてみる。
- ・景色から『犯罪者が好む場所』などの危険予測が出来る力を身につけられるようにお子さまと話し合う。
例:「もし、〇〇だったら(あなたなら)どうする。」などのゲームをして一緒に考えてみる。
- ・おかしい事があったら、ためらわず警察に連絡すること。
- ・子供が車などで連れ去られた時は、車のナンバーや色などを覚えてすぐに 110 番。